

Take-Home Messages

～地域の感染症対応能力向上のために～

①平時からの準備がカギ！

- ・ 継続的な感染症対応の教育、マニュアル作成
- ・ 業務継続計画（BCP）の作成、備蓄
（物資・医療機器の確保、ローリングストック）
- ・ 感染症に関する情報収集、情報共有
- ・ 新興感染症に備えた合同訓練の実施

スキルアップ！

②地域全体を巻き込んだネットワーク作りがカギ！

- ・ 医師会、医療機関、保健所、救急の連携
- ・ 地域全体で感染症診療、感染症対策に取り組む
- ・ 平時から顔の見える関係づくり

つながれ 南部医療圏！
今こそワンチーム！

良質な喀痰：唾液ではなく膿性痰を採取することがポイント

採取上の注意点（喀痰）

1. 唾液様のものは検査不相当検体



2. 長時間室温に放置しない（2時間以上置かない） 原因菌の検出率が大幅に低下する

Miller and Jones分類

・痰の質を肉眼的所見で分類するもの

分類	所見
M1	唾液 or 粘性痰
M2	膿性痰が少量
P1	膿性痰が1/3以下
P2	膿性痰が2/3～1/3
P3	膿性痰が2/3以上

・唾液ではなく、膿性痰を！M痰では採りなおしになる場合もある

発熱症状を主訴とした海外渡航歴ありの患者問診のポイント（グループディスカッション1）

1. 活動状況

- 1) イベント、旅行日程
- 2) 上記の詳細

場所、期間、活動内容

※出国日、帰国日、滞在期間、活動内容、食生活、現地の方や動物との接触、虫刺され 等

2. 同症状者の有無

3. 症状の概要

発熱、呼吸器症状、消化器症状、皮膚症状、全身倦怠感、頭痛や関節痛、神経症状、その他

※それぞれの症状出現時期と期間（発疹と発熱の関係は診断の参考になる）

4. 情報収集

- ・ FORTH（厚生労働省検疫所）
- ・ 国立感染症研究所ホームページ
- ・ 外務省海外安全ホームページ

个人防护具：PPE（Personal Protective Equipment）（グループディスカッション2）

- ・ 感染性物質に対する防御のために着用されるものの総称であり、単独で用いたり組み合わせて使う。
- ・ 1回の使用ごとに廃棄するのが原則である
- ・ 目的は、医療従事者自身を守るためと患者を守るための2つであり、双方の要因を考えて着用する
- ・ 防護具の種類：手袋、マスク、ガウン、エプロン、ゴーグル、フェイスシールド等
（各種、使用用途に応じ材質や形状の異なるものがある）

◎个人防护具とは・・・

疾患名に合わせて使用するものではなく、自身を守るために、**どのように汚染する可能性があるのか（経路）**
どう覆うと守れるのか（防護）を考えて使用するものを選択し、正しく着脱する

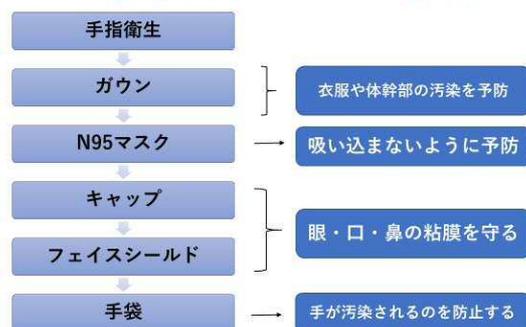
◎个人防护具の選択と要点

- ・ 標準予防策に加え、感染経路を遮断するために**場面にあった必要な防護具の選択**が大切
- ・ 个人防护具は「**正しく脱ぐ**」が重要

感染経路別予防策と個人防護具



空気・接触感染のリスクを想定しPPEを選択



発熱症状を主訴とした海外渡航歴ありの患者受け入れ時のポイント（グループディスカッション3）

1. 対応者（職員）の準備

1) 標準予防策

「汗を除く、血液、体液、分泌物、排泄物、創傷のある皮膚、粘膜には感染性がある」

という考えに基づいて行う対策

※患者の症状に応じた対応が必要。例えば、咳嗽を認める場合は 唾液の飛沫（曝露）のリスクを考えて 個人防護具を使用する

2) 感染経路別予防策

標準予防策のみでは伝播を防ぐことが難しい病原体をもつ患者や、その病原体による感染症を起こしている可能性が高い患者に対し、標準予防策に追加して行う対策

2. 患者・職員の移動動線の確保

1) 患者・職員の動線確保

- 他の患者や職員との接触を避ける動線を検討
- 感染者が移動する経路の換気・空気の流れを考慮する
- 必要時、動線確保のための対応者を配置

2) 受け入れ時間の調整

現場や連携先（医療機関や保健所）が対応可能な時間帯、動線確保が可能な時間を考慮する

3) Web フォームの活用

来院前問診等による院内滞在時間の短縮・職員の接触を最小限にする

3. 物品配置・環境の整備

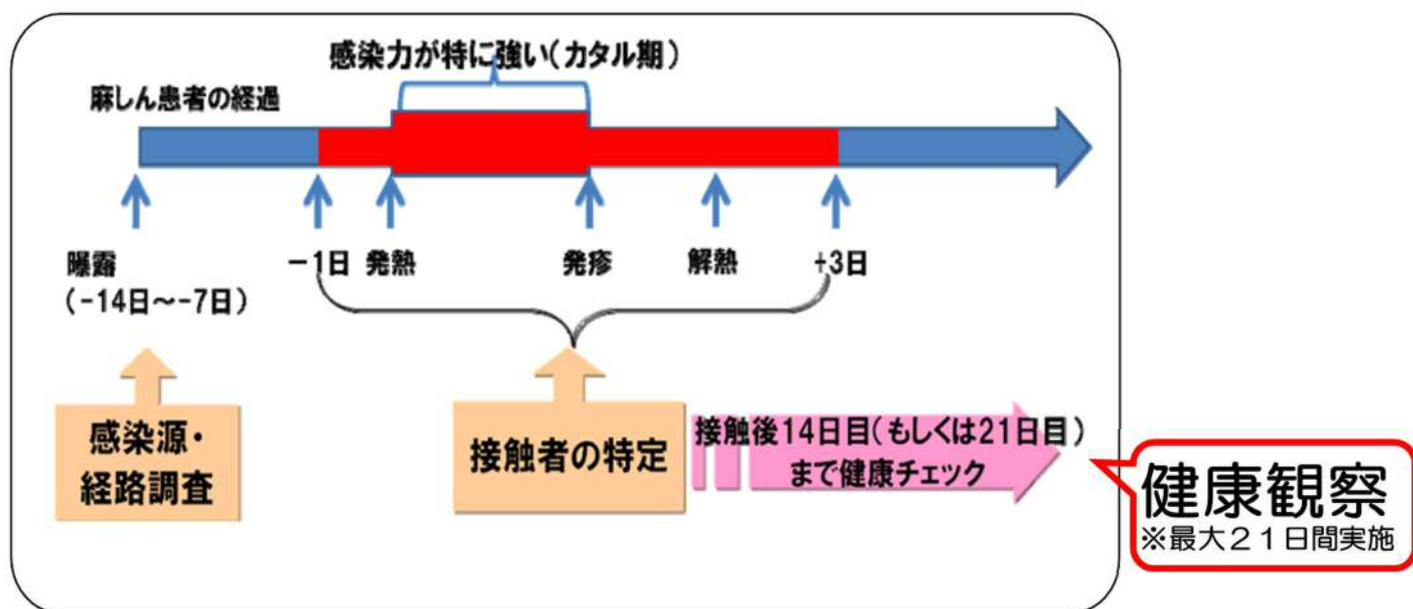
1) 物品の配置

- 配置する物品は必要最低限にする
- 職員の動線を考慮し、使いやすい場所に配置する
- 清潔、不潔の区別を明確にして物品を配置する
- 単回使用または、洗浄・消毒しやすい物を選択する

2) 病室（診察室）内の空調管理

- 換気可能な部屋か否か、換気できない場合はその対応を検討する
- 室内外の空気の流れを確認する

麻疹患者の感染性を有する期間



発熱前日から解熱後3日まで

麻疹発生時対応ガイドライン（第二版：暫定改定版2016年6月3日）

川口市 麻疹

検索

